

1 次の計算をしなさい。

(ア) $-9 - (+3)$

(イ) $-\frac{3}{4} \div \frac{1}{6}$

(ウ) $4ab + 2a - ab - 2a$

(エ) $3(x^2 + 5x) - 2(-x^2 + 4x)$

(オ) $(-4x)^2 \div 8x \div (-2x^3)$

(カ) $\frac{5x+y}{2} - \frac{2x-4y}{3}$

2 次の問いの答えなさい。

(ア) 1個 a kgの荷物3個と、1個3kgの荷物5個がある。この8個の荷物の平均の重さは b kg以上であった。このときの数量の関係を不等式で表しなさい。

(イ) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 5x - 2y = -1 \\ 7x - 6y = 5 \end{cases}$$

(ウ) 連立方程式 $\begin{cases} ax + by = 1 \\ bx - 2ay = 8 \end{cases}$ の解が $x = 2, y = 3$ であるとき、 a, b の値を求めなさい。

(エ) 点 $(a, 3)$ が一次関数 $y = \frac{1}{5}x + 2$ のグラフ上にあるとき、 a の値を求めなさい。

3 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の(i)~(iv)の条件のうち、四角形ABCDがいつでも平行四辺形になるものには○、そうではないものには×をつけなさい。(Oは対角線の交点とする。)

(i) $\angle A = \angle D, \angle B = \angle C$

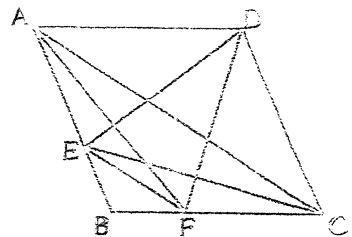
(ii) $AO = DO, BO = CO$

(iii) $AB \parallel DC, \angle A = \angle C$

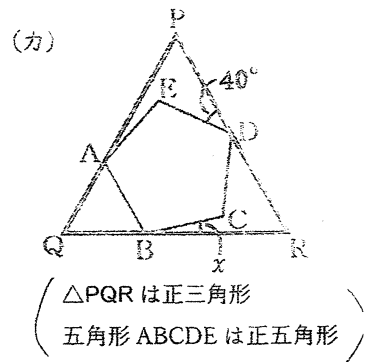
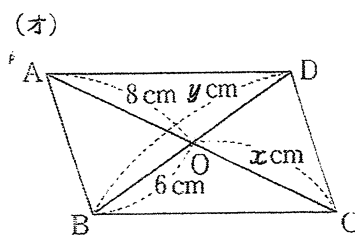
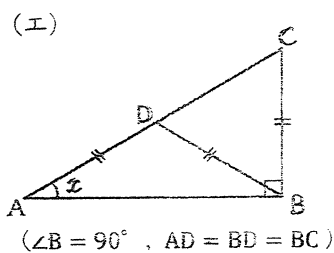
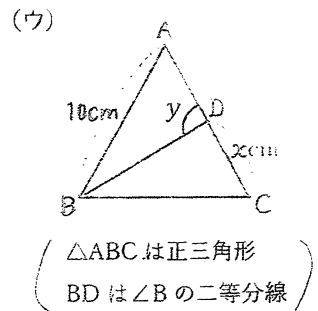
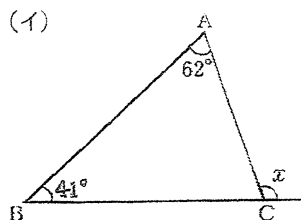
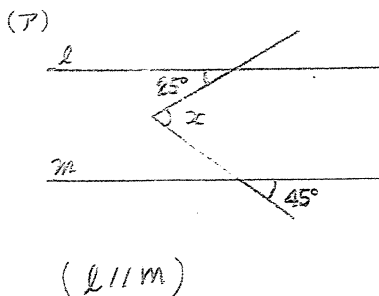
(iv) $AB \parallel DC, AB = DC$

(イ) 右の図の平行四辺形ABCDで $AC \parallel EF$ とします。このとき、 $\triangle ACE$ と面積の等しい三角形を、それぞれあとの①～⑦の中からすべて選び、その番号を答えなさい。

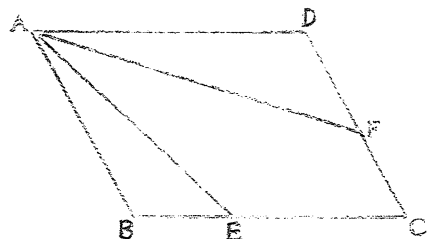
- ① $\triangle AED$ ② $\triangle AEF$ ③ $\triangle AFC$ ④ $\triangle EDC$
 ⑤ $\triangle EDF$ ⑥ $\triangle DCF$ ⑦ $\triangle DCA$



4 次の図で x, y の値を求めなさい。



5 右の図のように、平行四辺形ABCDがある。点Eは辺BC上の点で、 $BE:EC=1:2$ である。点Fは辺CDの中点である。このとき、四角形AECFの面積は平行四辺形ABCDの面積の何倍ですか。



- 6 右の図において、四角形ABCDは平行四辺形である。点Eは点Aから辺BCにひいた垂線とBCとの交点である。また、点Fは $\angle BCD$ の二等分線とADとの交点であり、点GはFから辺CDにひいた垂線とCDとの交点である。このとき、次の問いに答えなさい。

(ア) $AE=FG$ であることを次のように証明した。次の(あ)～(お)にあてはまるものとして正しいものを次の【選択肢】から一つずつ選び答えなさい。ただし、同じものを選んでも構いません。

【証明】

$\triangle ABE$ と $\triangle FDG$ において、

仮定より $\angle AEB = \angle FGD = 90^\circ \dots \textcircled{1}$

平行四辺形の対角は等しいので

$\angle ABE = \text{ (あ) } \dots \textcircled{2}$

CFは $\angle C$ の二等分線なので、

$\text{ (い) } = \angle FCD \dots \textcircled{3}$

AD//BCより、平行線の錯角は等しいので、

$\angle FCB = \text{ (う) } \dots \textcircled{4}$

③、④より

$\angle FCD = \angle CFD$

よって、 $\triangle DFC$ は二等辺三角形になるので、

$DF = \text{ (え) } \dots \textcircled{5}$

また、平行四辺形の対辺は等しいので、

$BA = \text{ (え) } \dots \textcircled{6}$

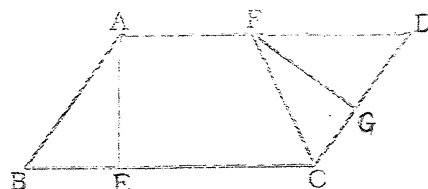
⑤、⑥より

$BA = DF \dots \textcircled{7}$

①、②、⑦より、直角三角形で (お) がそれぞれ等しいので

$\triangle ABE \equiv \triangle FDG$

したがって、 $AE=FG$



【選択肢】

1. $\angle BAE$
2. $\angle BAD$
3. $\angle FDG$
4. $\angle FCB$
5. $\angle CFD$
6. FC
7. DC
8. EA
9. 斜辺と1つの鋭角
10. 斜辺と他の1辺

(イ) 下線⑦について、 $\triangle DFC$ が二等辺三角形になる根拠を次のように説明した。次の空欄☆にあてはまる言葉を書きなさい。

【説明】

$\angle FCD = \angle CFD$ より、 $\text{ (お) } \star$ ので $\triangle DFC$ は二等辺三角形になる。

(ウ) $AB=5$, $AD=9$, $EC=6$ のとき、台形AECFの面積は20であった。このとき、 $\triangle FCD$ の面積を求めなさい。

- 7 大人2人と子ども3人が、動物園へ行った。5人全員が右のような特別優待券を利用したところ、入園料は合計3,650円であった。特別優待券を誰も利用しない場合は、入園料の合計がこれより1,610円高くなる。大人1人1人の入園料を x 円、子ども1人1人の入園料を y 円として、次の問いに答えなさい。

とくべつゆうたいけん
～特別優待券～

おとな ふうじょうにゆうえんりょう わりびき
大人：通常入園料の2割引

こども ふうじょうにゆうえんりょう はんがく
子ども：通常入園料の半額



- (ア) 通常入園料に注目して式を立てなさい。

- (イ) 特別優待券を利用した入園料に注目して式を立てたものとして適切なものをあとの①～④の中から選び、その番号を答えなさい。

- ① $0.8x + 1.5y = 3650$ ② $1.6x + 1.5y = 3650$
③ $1.6x + 1.5y = 1610$ ④ $0.8x + 1.5y = 1610$

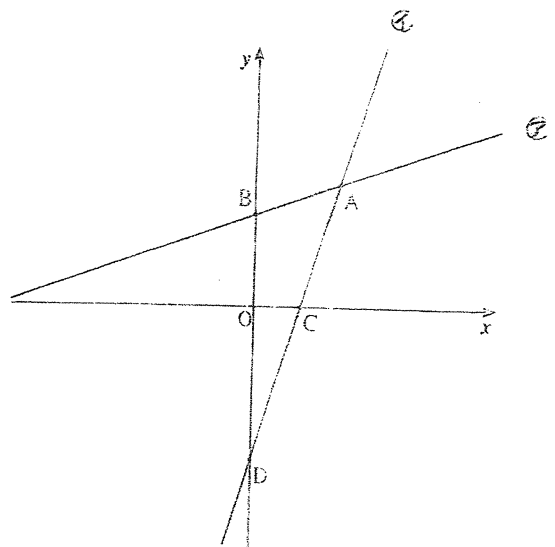
- (ウ) (ア)と(イ)を連立方程式で解いて、大人1人、子ども1人の通常の入園料を求めなさい。

- 8 次の図のように、点B(0, 3)がある。直線⑦は関数 $y = \frac{1}{3}x + 3$ 、直線⑧は関数 $y = 3x - 5$ のグラフである。点Cは直線⑦とx軸の交点、点Dは直線⑧とy軸の交点である。次の問いに答えなさい。【思考・判断・表現】(各2点、エのみ3点)

- (ア) 点Aの座標を求めなさい。

- (イ) $\triangle ABD$ の面積を求めなさい。

- (ウ) 原点Oと点Aを通る直線の式を求めなさい。



- (エ) 直線⑦上に、 x 座標が正である点Pをとる。点Pの x 座標が3より大きいとき、直線OPと直線⑧の交点をQとする。 $\triangle OBQ$ の面積と $\triangle APQ$ の面積が等しくなるとき、点Pの x 座標を求めなさい。

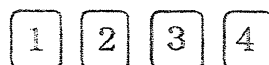
9 次の問いに答えなさい。

(ア) 1つのさいころを投げるとき、偶数の目が出る確率を求めなさい。

(イ) A, B, C, D, E の5人の中から、くじ引きで2人の代表を選ぶとき、BとDが選ばれる確率を求めなさい。

(ウ) 袋の中に、赤球、白球、青球が1個ずつ入っています。この袋の中から球を1個ずつ3回続けて取り出し、取り出した順に1列に並べます。このとき、青球と赤球がとなり合って並ぶ確率を求めなさい。

(エ) 1から4までの整数が1ずつ書かれた4枚のカードがあります。この4枚のカードをよくきってから、1枚ひき、十の位の数とします。次に、ひいたカードをもとに戻してからよくきって1枚ひき、一の位の数とし、2けたの整数をつくります。つくられた2けたの整数が3の倍数になる確率を求めなさい。



10 A, Bの2つのさいころを同時に投げて、Aのさいころの出た目の数を a , Bのさいころの出た目の数を b とします。次の問いに答えなさい。

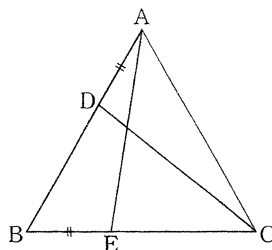
(ア) $a + b \leq 5$ となる確率を求めなさい。

(イ) $2a + b = 12$ となる確率を求めなさい。

(ウ) 2直線 $y = \frac{6}{5}x + 3$ と $y = \frac{1}{2}x - 6$ が交わらない確率を求めなさい。

なし

- 9** 正三角形 ABC の辺 AB, BC 上に, それぞれ, 点 D, E を $AD = BE$ となるようにとります。このとき, $AE = CD$ となることを次のように証明しました。㉑~㉕にあてはまるものを答えなさい。



証明 $\triangle$ ㉑ と $\triangle$ ㉕ において,

㉑ から,

$$\text{㉑} = AD \quad \dots \text{㉑}$$

$\triangle ABC$ は ㉒ だから,

$$AB = \text{㉓} \quad \dots \text{㉒}$$

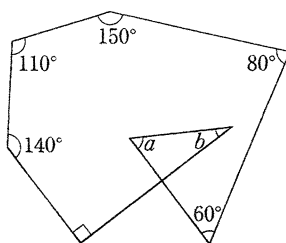
$$\text{㉔} = \text{㉕} = 60^\circ \quad \dots \text{㉓}$$

㉑, ㉒, ㉓より, ㉔ から,

$$\triangle \text{㉑} \cong \triangle \text{㉕}$$

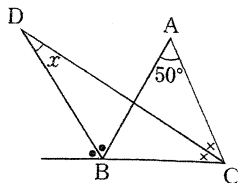
合同な図形の対応する辺は等しいから, $AE = CD$

- 10** 右の図で, $\angle a$ と $\angle b$ の和を求めなさい

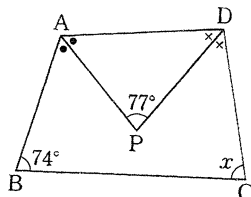


- 11** 下の図で, 同じ印をつけた角の大きさが等しいとき, $\angle x$ の大きさを求めなさい。

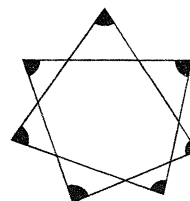
(1)



(2)



(3)



印をつけた角の和